

## 熊本の皆さん「大家好！」



中国国際交流員（CIR）

梁 娟美さん

私は梁娟美（リョウ ケンビ）と申します。中国桂林にある広西師範大学の教師です。大学で、外国人の学生に中国語と中国文化を教えています。名前をアルファベットによる中国語の記号表記（ピンイン）で書くと、Liang Juanmei、となります。音の上がり下がりがあり発音が難しく、外国人にとってはなかなか発音しにくいので、よく皆さんに「Mei 老師」（Mei 先生）と呼ばれています。これまでほとんどの時間を学校の中で過ごし、また学校で仕事もしているので、子供や若い人たちと一緒に過ごす時間がかなり多いからかもしれませんが、みんなからはいつも「子供っぽい」と言われています。

中国の南方の出身なので、小さい頃から雪国に憧れがあり、高校を卒業する際に、故郷からずいぶん離れた中国のほぼ最北端に位置する吉林の大学に進学しました。雪が見えるよう、わざわざとできるだけ北の大学を選んだのですが、大学時代の4年間はあいにく史上稀にみる乾燥気候の時期にあたり、たまにしか雪を体験できませんでした。その上驚くことに、故郷から大学までは、当時の車のスピードで3日間もかかっていたいました。そんなつらい旅をして、はるか遠くの北へ行き、雪を見たい気持ちで一杯なのに、なかなか本場の雪に出会えなかった気持ちをどう表現するといいいのやら。残念というより、悔しいといったほうがいいでしょう。加えて学校が休みに入ると、また3日間かけて車で故郷へ帰っていました。こんな辛い体験がありましたので、院生の時には、遠くもなく、車も乗りかえずに済む北京の大学を選びました。北京は中国の首都で、オリンピックの後には、随分過ごしやすい場所となっ

たものの、気候の面では、北に位置しているし、少し内陸でもあるし、空気がとても乾燥しているし、私にはなかなか慣れることが出来ませんでした。いろんな所で生活して、体験してみるのには、学生の時期が一番いいチャンスだと思います。それによって、自分が将来生活したいところが見つけれられるからです。私は将来ずっと生活していきたい所を、桂林と決めました。

桂林は、世界でも有名な観光地、まるで水墨画の世界です。中国語で、「桂林山水甲天下」という詩があり、これは「桂林の山水は、天下に冠たり（天下第一である）」という意味です。桂林は、単に自然が堪能できる美しい所というだけではなく、歴史と文化の面でも随分恵まれています。歴史では、今から一万年前の甌皮岩時代には、母系氏族社会に入りました。夏商周時代には、桂林は百越人の居住地になりました。中国が最初に統一された秦の時代（紀元前214年）には、桂林で霊渠（運河）が開かれ、その後運河に沿って北にある首都までつながりました。桂林は、その時から桂林郡となりました。漢、三国、隋、唐、宋、元、明、清、そして今日に至る長い歴史の中で、たくさんの名所旧跡が残されています。それに、こんな素晴らしい所に輝かしい文化を創り出したのは、ここで生活している21もの少数民族です。少数民族の豊かな民俗文化と風俗習慣も、桂林の大きな特徴の一つと言えるでしょう。

熊本は、水と森の都で、桂林と同じ素晴らしい景色と多くの文化財を持つ所です。舟橋聖一の『**花の生涯**』に、『**天守の窓にもたれて、若き直弼は山紫水明の眺めに飽きることを知らなかった**』とありますが、熊本の魅力は、まさに「山紫水明」の世界です。熊本と桂林は、名実相伴う「姉妹」のように、美しい風景と歴史のある都市です。

これから一年間短い間ですが、私は国際交流員として、中国文化講座やサロン、イベントを行うことで、姉妹都市の皆さんに桂林のこと、また中国のことを紹介させていただきたいと思っています。これをきっかけにして、互いに友好都市の文化と理解を更に深め合い、また、熊本の皆さんから熊本や日本の文化も教えていただければ、私もとても幸せです。